

(1)地震発生時の対応

【授業中】

地震発生

- 家庭科室や理科室で火を使用している場合は、火を消す。
- 児童を落ち着かせ、机の下にもぐらせる。(体育館・運動場では中央に集合)
- 出口を確保する。
- 転倒の危険性があるものは窓から遠ざかせる。
- 絶えず声かけを行い、不安を緩和させる。
- 揺れがおさまったら頭部を保護し、安全を確認しながら避難を開始する。
- 動かせないけが人がいる場合は、隣接教師に連絡と誘導を依頼し、けが人に付き添う。
- 運動場の中央に集合し、人数確認および児童の健康確認後、校長に報告する。

【休憩中】

地震発生

- 校舎外にいる児童を運動場中央に誘導し、学年別に集合させる。
- 体育館では、中央部に集まらせる。
- 教室にいる児童については、窓際から離れ、机の下にもぐらせる。
- ローカでは、窓際から離れ、姿勢を低くして頭をかばう。近くの教室に避難させる。
- プールでは、速やかにプールから上がる。上がれない場合は、プールサイドにつかまる。プールサイドでは、その場にしゃがむ。(避難時ビート板やタオルで頭を保護する。)
- その他校舎内では姿勢を低くして頭をかばう。
- 揺れがおさまったら頭部を保護し、安全を確認しながら運動場中央に避難を開始させる。職員は必ず、トイレを確認する。
- 人数確認および児童の健康確認後、校長に報告する。
- 不明者がいる場合、校長の指示で捜索を行う。

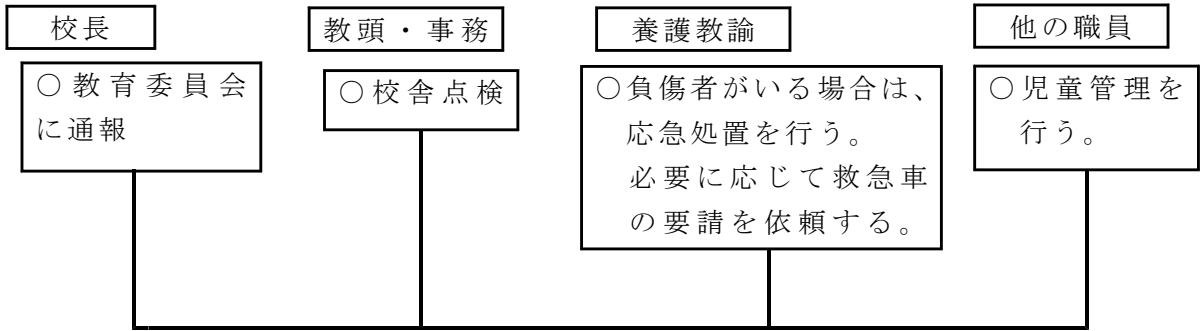
予想される危険

普通教室	窓ガラスの飛散 天井板の落下 本棚の倒壊 机上物の落下 蛍光灯の落下 ドアが開かない 子どもたちの混乱
特別教室	調理器具や整理棚の転倒による危険物の散乱 火災 ガス漏れ ドアが開かない
体育館	水銀灯やスピーカー、バスケットゴールの落下 舞台下の椅子収納庫の飛び出し 体育館玄関の崩落
プール	波発生
玄関	崩落
校庭	地割れ 裏山の崩落 バックネット

【登下校中】

地震発生

- 建物や塀、自動販売機、看板から離れる。
- 揺れがおさまるまで身を低くし、かばんなどで頭を守る。
- 揺れがおさまったら、学校か家、公共施設、いずれか近い方に避難する。
- 登校した児童を誘導し、避難させ、氏名、健康状態の確認を行う。(保護者への連絡)
- 登校していない児童の安否の確認を行う。



状況に応じて教室または体育館に移動

○ラジオ等による状況の把握

*津波が予想される場合はさつき寺に避難する。